



平成 27 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 日 本 基 礎 技 術 株 式 会 社  
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 原 巖  
 (コード番号 1914 東証 第1部)  
 問 合 せ 先 事 務 管 理 本 部 長 田 中 邦 彦  
 (TEL 06-6351-5621)

## 特別損失の計上および業績予想の修正並びに年間配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期において、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。また、最近の業績を踏まえ、平成 27 年 3 月 6 日に公表いたしました、平成 27 年 3 月期の業績予想および平成 26 年 5 月 15 日に公表いたしました、平成 27 年 3 月期の年間配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

1. 特別損失の計上について  
(減損損失)

「固定資産の減損にかかる会計基準」に基づき、収益性の低下が見込まれる水耕栽培事業の建物等の固定資産について減損損失 188 百万円を特別損失に計上いたします。

## (貸倒引当金繰入額)

連結子会社に対する債権に対し貸倒引当金 329 百万円を特別損失に計上いたします。

なお、個別財務諸表上において特別損失として計上しますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

## 2. 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 21,700	百万円 425	百万円 690	百万円 1,520	円 銭 53.21
今回実績 (B)	22,200	735	1,030	1,650	57.76
増減額 (B-A)	500	310	340	130	—
増減率 (%)	2.3%	72.9%	49.3%	8.6%	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	20,563	134	569	81	2.86

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,300	百万円 760	百万円 1,420	円 銭 49.70
今回実績 (B)	19,690	1,035	1,430	50.06
増減額 (B-A)	390	275	10	—
増減率 (%)	2.0%	36.2%	0.7%	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	19,368	889	△80	△2.82

#### 修正の理由

##### (個別業績)

売上高につきましては、受注の増加に伴い完成工事高が増加し、また工事採算が向上したこと等により経常利益が増加する見込みです。

当期純利益は、減損損失および貸倒引当金の繰入を特別損失に計上したことにより微増となる見込みです。

##### (連結業績)

主に、個別業績の修正に加え、連結子会社の業績が好調に推移したことなどにより、営業利益、経常利益並びに当期純利益が増加する見込みです。

### 3. 平成 27 年 3 月期期末配当予想の修正)

(単位：円、%)

	年間配当額				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
前回予想 (26年5月15日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
今回修正	—	0.00	—	8.00	8.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 26 年 3 月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

#### 修正の理由

当社の利益配分については、適正な内部留保を確保しつつ財務体質の強化を第一と考えたうえで、長期安定的な利益配分を基本方針として第 56 期（平成 21 年 3 月期）から 1 株当たり 3 円の配当を継続してまいりました。

第 62 期（平成 27 年 3 月期）の期末配当につきましては、第 62 期決算の営業利益、経常利益および固定資産売却益 1,096 百万円（大阪本社ビル、東京本社ビル）ならびに内部留保等を勘案の上、1 株当たり 8 円配当（普通配当 1 円増配の 4 円、固定資産売却益に対する特別配当 4 円）として株主様のご支援に応えたいと存じます。

なお、本件は本年 6 月に開催予定の第 62 回定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

※本資料における業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上